

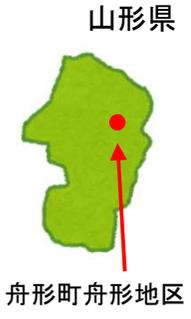
地域農業の在り方等を踏まえた市町村支援計画等の概要

【地区の概要】

- 水稲と園芸が主体の中間農業地域
- 農業従事者の減少、高齢化の進行により耕地面積の減少が課題となる中で、農地の維持に向け、ほ場整備、農地の担い手への集積、高収益作物の栽培振興を図りながら、担い手の農業経営を一層強化する必要がある地区

【支援内容・背景】

- 農地集約化による担い手の経営規模拡大及び経営強化に向け、作業の効率化、高収益作物等の導入・安定生産を支援する必要。
- 助成対象者は地区内における中心経営体として、水稲と園芸作物の複合経営を営む者であり、担い手の高齢化による離農者の増加に対応し、農地の受け皿として経営面積を拡大。併せてトマト、ラズベリー等の加工・販売に取り組みながら、雇用の拡大も実践。
このため、地区内における複合経営の経営強化のモデルとして育成・支援。



助成対象者「(株)ムラサキ農産」の経営の状況と事業内容

【経営の経緯】

- 平成19年 夫婦で親元就農
- 平成25年 法人化(株式会社)
経営改善計画の認定
- 平成27年 エコファーマー認定

《事業活用の背景》

○ 経営規模拡大及び生産性向上を図るためには、作業が逼迫する春作業の効率化が必要。作業時間の削減に向け、耕起、代掻き、定植作業等の効率化に資する高性能機械を導入。

【事業実施時の状況】
〈R2年度〉

○売上高 52百万円
○経営面積 21.7ha
(水稲、そば、ねぎ、トマト等)

《事業による整備内容》

- トラクター 1台
事業費 6,500千円
(国費 3,250千円)
- 田植機 1台
事業費 3,353千円
(国費 1,676千円)



【現在の経営状況】
〈R4年度〉

○売上高 49百万円
○経営面積 22.7ha (105%)
(水稲、そば、ねぎ、トマト等)

事業の
効果

《対象者》 作業の効率化が実現し、水稲、そば、野菜の作付面積拡大が実現。R4米価がR2比12%下落したものの、売上高の減少幅を抑え、全体で黒字を確保。
《地区》 助成対象者による地区内の農地集約化が進展し、遊休農地の発生を抑制。